

経営情報 2020.7月

Monthly Report

よい朝のために。
KYORITSU
 HOTELS & DORMITORIES

(東証1部 コード9616)

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「経営情報 Monthly Report」は、株主様をはじめとする弊社関係者の皆さまに、より弊社をご理解いただくとともに、皆さまのご意見を経営に反映させていただくことを目的として、発信させていただいております。

共立メンテナンスグループ セグメント別(事業別) 売上状況

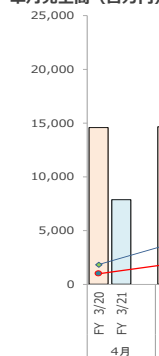
7月の状況につきましては、依然として新型コロナウイルスの影響を受けておりますが、7月22日に政府主導の『GO TO トラベルキャンペーン』がスタートしたことや、国内需要が動き始めたこともあり、当社ホテルの稼働率は前月に引続き上昇しております。なお、ドーミーイン事業の国内宿泊者数は前年同月を上回り、リゾート事業においても、昨年並みの客室単価を維持した上で稼働率が上昇し、ホテル事業は前期からマイナス44%と減収幅を縮めております。一方、寮事業につきましては、留学生の訪日延期や、新入社員研修の中止によるご利用の減少などがあり、期初稼働率は93.7%（前期比5.0PP減）でスタートしたため、前期から7%の減収となっております。また、フーズ事業につきましては、ホテルレストランや外食店舗の売上が伸び悩み、前期から27%の減収となりましたが、ホテルの稼働率の上昇に伴い、回復傾向にあります。今後も全社を挙げて新型コロナウイルスの感染防止策を徹底したうえで、更に反転攻勢を強めてまいります。

この結果、7月のグループ売上高は、単月で117.4億円となり、前期から32%の減収となっており、7月までの累計では、前期から37%の減収となっております。

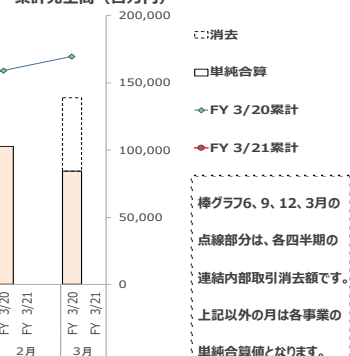
単位：百万円(百万円未満切捨て表示)

	前年同期実績	2020年7月実績(単月)		前年同期実績	2020年7月実績(累計)	
			対前期			対前期
寮事業	4,119	3,850	-269 -7%	17,144	15,961	-1,183 -7%
学生寮	2,072	1,867	-204 -10%	8,453	7,739	-713 -8%
社員寮	1,217	1,185	-31 -3%	5,380	5,059	-321 -6%
ドミール	424	442	+17 +4%	1,707	1,785	+78 +5%
受託寮	405	354	-50 -12%	1,602	1,376	-226 -14%
ホテル事業	6,974	3,896	-3,077 -44%	26,955	8,214	-18,740 -70%
ドーミーイン事業	4,233	2,231	-2,001 -47%	16,395	5,302	-11,093 -68%
リゾート事業	2,697	1,644	-1,053 -39%	10,381	2,871	-7,510 -72%
その他	43	20	-23 -53%	178	40	-137 -77%
総合ビルマネジメント事業	1,531	1,404	-126 -8%	5,533	4,926	-607 -11%
フーズ事業	597	435	-161 -27%	2,345	1,120	-1,224 -52%
デベロップメント事業	3,004	860	-2,144 -71%	7,702	5,502	-2,199 -29%
不動産流動化事業	2,777	-	-2,777 -	4,204	-	-4,204 -
その他	227	860	+633 +279%	3,497	5,502	+2,004 +57%
その他事業	1,114	1,293	+179 +16%	4,358	4,929	+570 +13%
PKP事業	571	748	+176 +31%	2,312	2,828	+516 +22%
シニアライフ事業	135	136	+0 +0%	544	533	-10 -2%
その他	407	409	+1 +0%	1,501	1,567	+65 +4%
合計	17,341	11,741	-5,599 -32%	64,039	40,654	-23,384 -37%

単月売上高(百万円)



累計売上高(百万円)



(注1) ここに表記している当期の計数情報は、監査法人による会計監査受検前のグループ各社の売上高(速報ベース)を単純合計したものであり、連結内部取引消去前ベースです。従って、後日確定する財務数値と差異が生じる可能性があります。

(注2) 上記グラフは、四半期末以外の月の単月売上高は注1に記載の売上高ベースで、各四半期末月の単月売上高は当該四半期の連結内部取引消去額を控除して表示しています。なお、累計売上高(折れ線グラフ)につきましては、経過した各四半期の連結内部取引消去額を控除して表示しています。